



A.A.M.T

秋臨技 だより

第98号

第 98 号

発行所
〒010-0013 秋田市南通築地1-1
ファーストワン築地2A
TEL・FAX:018(825)2116
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp
一般社団法人秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 藤田秀文
編集主幹 渡辺義孝
印刷所 石岡印刷所
秋田市手形十七流10-1
電話018(884)4771

目 次

新年のご挨拶	1	第31回検査と健康展	4
日臨技北日本支部医学検査学会を終えて…	2	災害見舞金規定の変更	5
日臨技北日本支部医学検査学会に参加して …	3	秋臨技事業・県表彰・編集後記	6

新年のご挨拶

(一社)秋田県臨床検査技師会 会長 藤田秀文

新年明けましておめでとうございます。

昨秋に行われました日臨技北日本医学検査学会(第6回)は、テーマを「深化×伸化×新化～臨床検査の技と美を追究する～」として「秋田らしさ」を前面に出し、約830名の皆様に参加頂き盛会裏に終了いたしました。これもひとえに会員・賛助会員の皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。多数の演題登録、特別講演・公開講演・公開演奏会・教育セミナー・教育講演・R-CPC・シンポジウム・日臨技企画・ランチョンセミナー・進学支援ガイダンス・記念式典・情報交換会等どれをとっても参加者には大好評のお声を頂きました。まさに秋臨技全員の「おもてなし」の心が秋田を訪れた方々に響いた学会でした。また、実行委員や実務委員は8年後にまた当地を会場に開催される本学会を意識して活動しており、確実に次期開催に繋がる道筋となった学会でもありました。会員の皆様には、今後我々が目指す臨床検査技師像やビジョンが明確になった学会でもあったと思いますので、この機会に習得した知識は今すぐに自施設にとりいれて役立てて実用化して頂きたいと思えます。

さて、宮島議員が尽力された『医療法等の一部を改正する法律案(内閣提出第57号)』が昨年6月に可決されて本年施行されます。具体的な検体検査、遺伝子関連検査の品質・精度管理に係る基準、検体検査の分類等について医療関連職種から構成される検討会の場で検討され具体化される予定です。診療報酬に反映されるかは不透明ですが、法律で精度管理が明確に規定されます。また、医療・介護・福祉の一体化に向けた医療改革は、本年4月の診療報酬改定を持って明確化され、臨床検査技師が地域包括医療に関連する事が期待されております。

これらの事から本年は、臨床検査の足固めを確実にいき、そしてチーム医療に貢献していく事が現実になる年になるものと考えます。「臨床検査が医療を支える」という私たちの使命は、皆さんの協力があればこそ実現するものと信じております。まずは目の前の課題にひとつひとつ着実に取り組んでいきましょう。どうか皆さん、今年もよろしくお祈りいたします。

新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

日臨技北日本支部医学検査学会(第6回)を終えて



実行委員長

JA秋田厚生連 大曲厚生医療センター 高橋 一彦

去る10月14日(土)15日(日)、「平成29年度日臨技北日本支部医学検査学会(第6回)」が秋田県総合生活文化会館アトリオンを会場に開催され、約830名の皆様にご参加いただき、盛会裏に終了することができました。

学会はテーマである「深化×伸化×新化～臨床検査の技と美を追究する～」の下、秋田大学大学院の本山悟教授による特別講演、同中村順子教授による公開講演をはじめ、各特別企画でも著名な先生方のご講演が行われました。また一般演題では会員及び学生から合計153題の発表があり、活発な討論がなされました。特に一般演題は当初登録が伸び悩みましたが、県内会員のご協力の下、最終的に予定を上回る演題数となりました。発表頂きました県内会員の皆様には心より感謝申し上げます。



日臨技企画への取り組みでは、特に「学生フォーラム」に力を注ぎ、「語ろう！教えて！臨床検査技師への道」をテーマに掲げ、秋田県出身の学生を中心に地元就職に対する想いや将来展望をテーマに据え、各立場のパネリストの参加も得て熱く語り合うことができました。また「進学支援ガイダンス(職業体験企画)」には12名の高校生の参加があり、臨床検査技師という職業を体験してもらえたことは「臨床検査技師の未来」へ結び付くものとなり、今後も継続していく必要性を感じる企画になりました。

学会サブテーマである「美」の企画としては、「女性技師の美を活かし働きやすい職場環境の構築を目指す」をテーマにしたシンポジウムを開催しました。本企画では、相山広美日臨技副会長と年代別に女性技師3名から自身のキャリアデザインについてご講演いただき、これからの女性の活躍に焦点をあてた意見交換がなされました。また、公開企画としてプロの演奏家による「公開演奏会」を開催できましたことは、会員の皆様に「音楽の美」を通じて、一時のくつろぎを感じていただけたものと思っています。更に、会場は託児設備が併設されていることを利用し、初の企画として無料で「託児」を行いました。ご利用いただいた会員様にとりましては子供さんと一緒に参加された「思い出の学会」となったのではないのでしょうか。

本学会は秋田県の運営委員全員が『おもてなし』の心で皆様をお迎えいたしました。特に情報交換会では「竿燈」をはじめとした秋田ならではの郷土芸能もいくつかご披露し、『美の国秋田』も参加者の印象に残る学会と情報交換会になったのではないかと思います。

参加者をはじめ、賛助会員様、そして何よりも開催県運営委員全員の協力があったからこそ「盛会」でしたが、全員で『臨床検査の技と美も奏でた！』充実した学会であったものと感じています。そして事務局一同、何より学会を無事に終了できたことに対して安堵しているところです。末筆になりますが、ご協力いただきました関係各位には心より厚く御礼申し上げるとともに、会員の皆様のますますのご活躍を祈念いたしまして、日臨技北日本支部医学検査学会(第6回)終了のご報告に代えさせていただきます。皆様、ありがとうございました。



日臨技北日本支部医学検査学会(第6回)に参加して



小野 園美
市立秋田総合病院

臨床検査技師として6年目を迎え、今回初めて北日本支部医学検査学会に参加させていただきました。実務委員として高校生進学ガイダンスに参加し、心電図の説明・実技を行いました。高校生の真剣に取り組む様子から刺激を受け、検査技師としてより一層責任を持って仕事をしていかなければならないと気持ちが引き締まりました。

一般演題で発表させていただきましたが、職場の先輩方や多くの方の支援・指導のおかげで無事終わることができ深く感謝しております。

発表をとおして反省点もありますが、大変貴重な経験をすることができました。この経験を今後
に生かし、また学会で演題発表できるよう日々知識の向上を目指し頑張りたいと思います。

日臨技北日本支部医学検査学会(第6回)に参加して



山城 睦
大曲中通病院 検査科

東北6県と北海道、新潟を含めた8県で開催される北日本学会が、今年は秋田県で開催され、今回私は実務委員として参加させていただきました。就職して最初の学会だったので、実務委員が何を
するのかも分からずとても緊張していました。しかし、実務委員として参加したお陰で、学会は多くの方々の支えがなければ開催できないのだと分かりました。

また、普段はあまり交流することのない他病院の方々と実務委員として一緒に仕事できたのも貴重な時間でした。自分の働いている病院とは違う環境について
知ることができ、とても刺激的でした。

業務の合間には、「検査が説明できる臨床検査技師」の時代に]など多くの講演を聞かせていただき、私自身にとって「伸化」できた学会でした。この学会で学んだことを忘れず、次の学会では演者としても参加できるよう、日々の業務に励んでいきたいです。

第31回「検査と健康展」

秋田赤十字病院
佐藤 多佳子

日臨技が全国で行っている「検査と健康展」を、本県では例年よりやや遅い12月3日(日)に秋田市のアルヴェで実施しました。この日は冷たい雨の降る朝で出足が心配されましたが、1時間以上前から並ぶ方もいて、開始の10時には20人ほどが列を作られました。実務委員には県内外から技師66名、医師2名、保健師4名、メーカー14名、業者12名がボランティアで参加していただきました。



実施項目は昨年度と同様に「骨密度」、「簡易血色素濃度」、「血糖・HbA1c」、「肺年齢」、「頸動脈エコー」、「血管機能検査(API,AVI)」、「医師、技師による結果説明」、「保健師による健康相談」を行いました。このうち、力をいれている「技師による検査説明」には改定されたマニュアルを使って多くの技師が携わりました。この他今年には国の動向を受けて新たに「物忘れプログラム」も実施し、参加者の関心も高いものがありました。高齢者が多かったためか結果が認知症のボーダーと判定される方も目立ちましたが、冷静に受け止めていたのが印象的でした。今後、認知症傾向が認められる方に対して、どう説明していけばよいかマニュアルづくりなどを進める必要があると感じました。

来場した県民の中には毎年この催しに通っている方も多く、会場には最終的に188名の方が訪れ過去最高の受検者数となりました。各ブースごとに整理券を配って検査の進み具合を表示し、自分の順番がわかるようになって数年になりますが、このやり方が運営側にも受検者側にも浸透し、人数が多かったにもかかわらずスムーズに検査を進めることができました。アンケートによると今回が初めての参加という方は45名で、やはりリピーターが非常に多かったようです。この「検査と健康展」を心待ちにしている方がたくさんいて、その方たちの健康管理の一助になっていることがうかがえました。休日にもかかわらず無料で検査をしてもらえることに感謝する声がたくさん寄せられました。

今回も県内各地の技師や県外も含めた他の医療関係者による積極的な関わりのおかげで、秋田県の「検査と健康展」を成功裏におこなうことができました。現在、秋田市開催が続いているのでこの後どうするか、またより多くの技師に関わってもらうにはどうするかなどが今後の課題だと思われます。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。





秋臨技事務局よりお知らせ

慶弔見舞金規定が変更になりましたので掲載いたします。

一般社団法人 秋田県臨床検査技師会

慶弔見舞金 規程

(総 則)

第1条 一般社団法人秋田県臨床検査技師会が会員や他に対する見舞いおよび慶祝ならびに弔慰について定める。

(慶 祝)

第2条 本会が関係する団体等の祝賀行事に招待された場合は、相応の金品で祝賀する。

(弔 慰)

第3条 会員および本会と密接な関係を有する団体葬ならびに個人に弔慰する。
2. 会員には、生花を式場に飾り、会長または名代が葬儀に参列し 10,000 円を霊前に捧げる。
3. 本会と密接なる関係を有する団体葬ならびに個人には、応分の供物をする。

(災害見舞金)

第4条

災害見舞金は会員の届出又は上位会員の届出により、理事会の決議を経て支給するものとする。支給範囲及び額等は下表による。

被災状況	金額	対象
全壊、焼失、流失	150,000	会員の居住する家屋
半壊、半焼	100,000	会員の居住する家屋
床上浸水	50,000	会員の居住する家屋
床下浸水	30,000	会員の居住する家屋
落雷	20,000	会員の所有する家財
廃車	30,000	会員が使用する車両

(その他の慶弔見舞金)

第5条

前各条に定めのないものでも、状況により技師会が支給の必要があると認めた場合には、理事会の承認を得て支給することがある。

(規程の改廃)

第6条 この規程は、理事会の議決を経なければ改廃することができない。

付 則

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

平成 18 年 6 月 16 日変更

平成 26 年 12 月 21 日変更

平成 29 年 8 月 7 日変更

訃
報

船木 久恵氏

当会会員、市立秋田総合病院の船木 久恵氏が本年1月4日に逝去されました。享年66歳でした。ご冥福をお祈りし秋臨技よりご霊前へ志を捧げました。

平成29年12月2日(世界エイズデー)に参加

平成29年12月2日(世界エイズデー)に秋田県臨床検査技師会の会員が参加している様子が北鹿新聞に掲載されました。

検査や相談呼び掛け

大館駅前で保健所職員ら

エイズデー、いのちの日

「世界エイズデー」の1日、大館保健所はJR大館駅前街頭キャンペーンを行い、HIV(エイズウイルス)の検査や相談を呼び掛けた。エイズに関する正しい知識を身に付け、患者や感染者に対する偏見や差別の解消を図ろうと毎年実施。自殺防止を図る同日の「いのちの日」の普及活動も併せて行った。保健所職員や秋田看護福祉大の学生、県臨床検査技師会の会員計13人が参加した。HIVの啓発チラシや心の健康相談の連絡先が書かれたポケットティッシュが入ったミニバック400セットを用意。「若い世代への啓発に力を入れよう」と登校時間に合わせ設定し、高校生らとあいさつを交わしながら手渡した。保健所の担当者は「エイズ



啓発チラシを配布したキャンペーン (JR大館駅前)

は予防できる病気。また、早期発見、早期治療が大切で、

積極的に検査を受けてほしい」と話した。同保健所では月2回、HIVの検査や性感染症などの相談を受け付けている。匿名、無料で受けられるが、事前申し込みが必要。12月は7、19日。申し込み問い合わせは同保健所(80186・52・30552)。

「提供 北鹿新聞社」



「平成29年度秋田県環境・保健事業功労者表彰」

平成29年度秋田県環境・保健事業功労者表彰を当会員の久保田 政昭氏(中通総合病院)が受賞されました。おめでとうございます。

編集後記



寒い中、皆様はいかがお過ごしでしょうか。北日本学会も盛会に無事終わり、ようやく一息ついていることと思います。私は学会で高校生ガイダンスを担当しましたが、秋田の高校生は臨床検査技師をあまり知らないのが現状だとわかりました。これからの技師会活動として中高生に啓蒙普及していく必要性を大いに感じた学会でした。

(市立秋田総合病院 渡辺 義孝)